

PROGRESS ~前進~

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから ⇒



「新しい学年に向けての助走」
【0（ゼロ）学期理論】
<2月・3月>

ちょっといい話

あいさつに関する話を2つ。

今日は少し難しい話…でも絶対大事なこと

先生（桐山）が、とても尊敬している、ある中学校陸上競技部の先生がおっしゃっていた言葉を紹介いたします。

この先生は、非常に誠実で、陸上競技の選手のみならず、私たち顧問に対しても、大変心が熱くなり、モチベーションが上がる話をしてくださいます。先生（桐山）も、今日紹介する言葉に心を動かされました。

各自の言動が、周囲に存在する人への環境になる
心がけるべきは、考えた言葉がけと行動

自分に置き換えて、想像してみてください。難しいですよ。

「私」以外の物は、全て「環境」です。人、モノ、気温、空気感…ありとあらゆる「環境」の中で、私たちは生活しています。

ということは、言い換えると「私」は、他者にとっての「環境」の一部なんですよ。

現代社会では、「多様性を尊重する」とか、「自分らしく」ということが盛んに言われています。このことを否定するつもりは全くありません。しかし、【「私」以外の物は、全て「環境」】【「私」は、他者にとっての「環境」の一部】という観点から言えば、集団生活（生きているからには、全てのことが「集団生活」です）をしている以上、「私が良いとしても、周りはどうなのか…」という考えを巡らせる必要がありそうです。

「遅刻」を例にして考えてみましょう。

Aさん→「遅刻したって、誰にも迷惑かけてないやん…」

Bさん→「せっかく静かに読書タイムしてるのに、今頃ドア開けてガサガサして迷惑やなあ…」

Aさんは、何も悪く思っていないようですが、AさんはBさんにとっての「環境の一部」です。他者の環境を、勝手に乱すことは許されません。簡単な話ですね。

他にも例はたくさんありますが、いずれにしても【**心がけるべきは、考えた言葉がけと行動**】です。あなたが発した言葉、あなたがとった行動が、他者にとってどのように受け止められるのか…ぜひ考えてみてください。

<その1>

最近、朝の登校指導中にあいさつされることが増えました。保護者の方々（現役・卒業生を問わず）、地域の方々…自動車運転中の方も会釈（えしゃく）してくださいませ。10年間も東中にいると、たくさんの方と関わらせていただくことができます。朝からとても嬉しい限りです。

<その2>

この紙面でも何度か紹介していますが、今朝は高2の先輩たち（4人）に会いました。（このうち3人は、皆さんのお兄さん・お姉さんですよ！）

Aさん→イヤホンを外して「おはようございます！」

Bさん→明るい笑顔で「行ってきます！」

Cさん→遅刻スレスレ…？ちょっと慌てながらも「おはようございます！」

Dさん→ひときわ元気に「ちわっす！」

毎度のことながら、朝から元気をもらいますね。

この2つのエピソードに共通することは、**「全て、先生（桐山）より先にあいさつしてくれている」**ということです。先生（桐山）も、絶対人より先にあいさつしようと心がけてはいますが、先にあいさつしてもらっただけで、ものすごくエネルギーがチャージされる気がします。**「たかがあいさつと思うな！」**ですね。

学校で一番楽しいことは、好きな教科をもつことである
学校で一番さびしいことは、注意してくれる友だちのいないことである
学校で一番みじめなことは、規則を破って気にならないことである
学校で一番みにくいことは、授業のじゃまをすることである
学校で一番尊いことは、父母や先生に感謝することである
学校で一番美しいことは、落ちていたゴミを拾うことである
学校で一番悲しいことは、人に迷惑をかけることである

一万円札の肖像画で有名な、福沢諭吉の言葉です。1・2年生は、今日から学年末テスト一週間前…言い訳を徹底的になくし、最大限の準備をしていきましょう。

3年生、進路をつかみ取った人も、これから勝負の人も、巣立ちまで17日…「立つ鳥跡を濁さず」とともに、この東中で学んだ「総まとめ」の17日間。素直な心で、「みんなが」満足する時間を過ごしてください。